



論奏

必要は発明の母とい
うが、環境問題が盛ん
に言われるようになり、

ゴミ問題がクローズア
ップされるにつれ、様々な機械や
システムの開発されてきた。雑多
な紙の分類が手間だとなれば、紙
なら何でも再生紙に出来るシステ
ムが開発される。見た目には種類
の別がつきにくいプラスチック
類には、プラスチックなら何でも
溶かして燃料に変えてしまう工場
が対応する。リサイクル技術はま
さに先端技術であり、マスコミな
どを賑わしている。面倒な分類な
どせずにより簡単に、リサイクル
できるということ自体は良いこと
であろう。

しかし、リサイクル技術がいかに進んでも、大量生産大量消費の大量廃棄という社会のシステムが、またそういったシステムを単に「便利で良いもの」としか受け止められないライフスタイルが変化しないかぎり、最も根本にあるものの解決（環境への負荷の軽減）には直接はつながらない。リサイクルとは一度使用されたものを原料として再生することである。例えて言うなら、モノの流れる下流での出来事である。現実問題として、100%の再資源化はなかなか望めないから、廃棄されるものは減るが無くならない。つまり、あくまでリサイクルは対症療法であって、根本的な解決法ではないのである。肝心なのは、無駄なものをゴミとして出さないようにすることであり、そちらの方は生産・流通の過程から身の回りの生活に至るまでの再検討によって達成可能ではないだろうか。こちらには革命的な技術は不要である。技術の華々しい進歩は歓迎すべきことである。それと同時に我々の生活・活動に、無駄なものを含め、作らないう、無駄なものが必ず必要な努力も定着させなければならぬ。これは対をなして考えるべきものだから。

再生品利用促進 & お年玉特別企画

好評！すてないでクイズ
リサイクルグッズが当たるヨ

Q ごみの問題を考えるときのキーワードの3R。優先する順番に並べてください。

- ① Reduce (ごみになるものを減らす)
- ② Reuse (再使用)
- ③ Recycle (再生)

はがきに住所、氏名、年齢、クイズの答え、また、あなたの知っているリサイクル情報、この情報紙リサイクルについてのご意見ご感想などをお書きのうえ、下記までご応募ください。
正解者の中から抽選で50名の方に、100%古紙使用ティッシュペーパー等が入ったリサイクルグッズ詰め合せをさしあげます。締切りは1月10日(消印有効)。発表は発送をもってかえさせていただきます。※正解は次号
〒160 新宿区歌舞伎町1-4-1
新宿区リサイクル推進課 すてないで編集部

愛のエコロジー劇場



フリーマーケット情報

月日	場所	問い合わせ先
1月	明治公園	5228-3300
☆9日	(日本青年館隣)	
○15日	東急文化会館屋上 (渋谷駅前)	3226-6471
○16日	新宿中央公園	3226-6471
○23日	西戸山公園	3226-6471
○30日	東急文化会館屋上	3226-6471
2月	明治公園	5228-3300
☆6日	(日本青年館隣)	

○印は、リサイクル運動市民の会主催
☆印は、日本リサイクル運動市民の会主催
詳細は、上記問い合わせ先にお尋ねください。

平成5年度新宿区資源回収量(単位kg)
12月1日現在

回収品目	回収量	回収率	回収率	回収率	回収率	合計
紙類	3616.1	—	—	—	—	3616.1
牛乳パック	19.9	—	—	—	—	19.9
布類	41.5	—	—	—	—	41.5
生きびん	61.7	20.3	—	—	—	82.0
雑びん	—	100.1	—	—	—	100.1
アルミ缶	31.0	8.8	13.4	—	—	53.2
スチール缶	—	45.8	56.3	—	—	102.1
乾電池	—	—	—	5.3	5.3	5.3
合計	3770.2	175.0	69.7	5.3	5.3	4020.2

コンポスト化容器数 49件
リサイクル活動センター
不用品交換立件数 4107件

来年2月から毎週土曜日 洋服のリフォーム講習会を新宿リサイクル活動センター(5330-5374)にて実施。詳しくはセンターまで。

編集後記

今年も終りに近づきました。第2号でお知らせした新宿リサイクル活動センターが無事オープンし、一同ホッとしたところで、最近みなさんからお便りが少なく編集部はちょっと寂しい思いをしています。皆さんのための「すてないで」の中で、みなさんのご意見・ちょっとした情報お待ちしております。

世界のリサイクル事情 その3

トイレトペーパーでわかるくらしの品質

松田美夜子
(リサイクル研究家)

ヨーロッパを訪ねて驚くのは、どんなに立派な一流のホテルも、レストランも、そして一般家庭でも、トイレトペーパーは全て再生紙が使われていることです。再生紙とは、私たちが一度使った紙類が古紙として回収され、それを再び溶かして作った紙のことです。日本の再生紙は、木材を原料にした新しいパルプ100%の紙と見分けがつかないほど真白に漂白されています。それと比べるとヨーロッパの再生紙は、無漂白があたり前。あるいはそれをあわいピンクやグリーンなどのおしゃれな色にほどよく染めてあります。無漂白のものに色をつけるので、どことなくクラシックな落ち着いた色合いです。ヨーロッパの表玄関にあたるオランダのアムステルダム空港の化粧室のトイレトペーパーは、茶封筒そのままの色でした。しかも幅は日本のものに比べて0.7cmほど狭く、ミシン目がしっかり入っていて、15cmほどでしっかりカットされます。

世界各國の飛行機は必ずここに立ちよる華やかな国際空港。そこを訪れる人々は、この無漂白の再生品を何のこだわりもなく使っているのです。環境保護への意識の高さ、その国の人々のくらしの品質は、トイレトペーパーで分かるのではないかと感じました。化粧室には手ふき用の紙タオルは備えてありません。たまたま高級レストランで備えてあっても、やはり未だらしの再生紙です。ごみを減らす、資源のムダ使いを減らすという意識が徹底しているのです。スウェーデンの環境省を訪ねたとき「日本では天然パルプ100%のものをトイレトペーパーに使っていると聞いたが本当ですか」と質問されました。彼の言葉には「なぜそんな無頓着なくらしをするのか。信じられない」というニュアンスがありました。くらしの品質に目くばりしましょう。

本の無料交換会

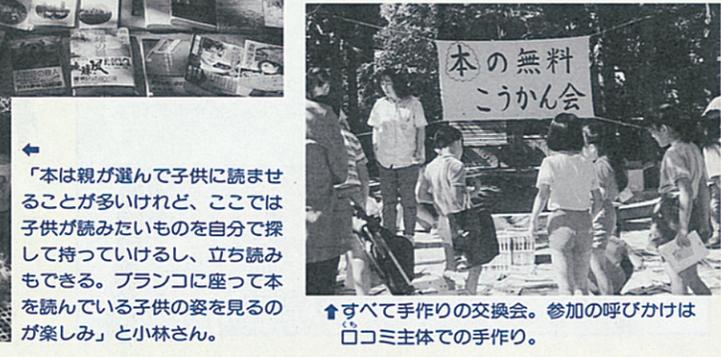
10月2日に南横公園で、「本の無料交換会」が行われたという情報を得た本紙記者は、早速取材に向かった。情報を寄せてくれたのは、この交換会の発案者、小林さん。「本を捨てるのはもったいない」というお母さんたちの思いから始まった「本の無料交換会」も今年で9年目という。この交換会は例年秋に開催されてきたが、昨年に引き続き、来年1月23日に牛込区民センターで行われる「牛込区民まつり」にも、市谷小PTAとして参加する予定。



「ごめんください」



種類はマンガから経営書、果てはお産の本まで。どれでも欲しい本は持っている。



↑すべて手作りの交換会。参加の呼びかけは口コミ主体での手作り。